

第8回はりま新宮小中一貫校開校準備委員会小学校区部会（西栗栖小学校）
一次第一

日時 令和8年8月5日（水）
午後7時から
場所 西栗栖コミュニティセンター

1 開 会

2 報 告

第11回開校準備委員会の協議内容について【資料1】

3 議 事

（1） 小学校の閉校に伴う行事等について【資料2】

（2） 「(仮称) 地域交流室」に設置する記念品候補について【資料3】

（3） スクールバス運行ルート確定について【資料4】

4 そ の 他

5 閉 会

はりま新宮小中一貫校開校準備委員会小学校区部会委員

校区	氏名	選出団体	
西栗栖小学校	今 江 伸	地 区 自 治 会	副部会長
	石 田 政 行	地 区 自 治 会	
	寺 本 和 男	地 区 自 治 会	
	富 田 徳 行	小 学 校 P T A	新規委嘱
	山 田 響 子	小 学 校 P T A	
	竹 林 絢 加	未就学児保護者	部会長
	飯 田 真ノ介	未就学児保護者	新規委嘱
	高 橋 孝 行	小 学 校 関 係 者	新規委嘱
東栗栖小学校	岸 井 和 義	地 区 自 治 会	
	尾 崎 啓 一	地 区 自 治 会	
	神 吉 久 義	地 区 自 治 会	副部会長
	上 田 哲 也	小 学 校 P T A	部会長
	牛 堂 雄 介	小 学 校 P T A	
	永 井 安 奈	小 学 校 P T A	
	前 床 佐 和 子	未就学児保護者	
	石 野 誠 悟	小 学 校 関 係 者	
香島小学校	田 中 一 典	地 区 自 治 会	副部会長
	瀧 浦 徳 久	地 区 自 治 会	
	前 田 基 之	地 区 自 治 会	
	大 谷 基 子	小 学 校 P T A	
	吉 田 真由美	小 学 校 P T A	部会長
	前 川 あ い	小 学 校 P T A	
	荒 木 健 太 郎	未就学児保護者	
	村 田 裕 章	小 学 校 関 係 者	新規委嘱
新宮小学校	進 藤 登	地 区 自 治 会	副部会長
	福 井 廣 吉	地 区 自 治 会	
	河 井 由 一	地 区 自 治 会	
	木 南 裕 樹	小 学 校 P T A	部会長
	赤 秀 佐 紀 子	小 学 校 P T A	
	岡 村 亜 紀 子	小 学 校 P T A	
	八 木 洋 介	未就学児保護者	新規委嘱
	谷 口 美 穂	小 学 校 関 係 者	新規委嘱
越部小学校	菅 野 豊	地 区 自 治 会	副部会長
	三 田 富 明	地 区 自 治 会	
	三 宅 守	地 区 自 治 会	
	前 田 可 奈	小 学 校 P T A	部会長
	堂 野 能 伸	小 学 校 P T A	
	家 納 結 加	小 学 校 P T A	
	構 恭 太	未就学児保護者	新規委嘱
	吉 田 美 穂	小 学 校 関 係 者	

(敬称略)

第 11 回開校準備委員会の協議内容について

1 校章デザインについて

小中一貫校で使用する校章のデザインについて協議を行い、最優秀作品を選定しました。

次回の開校準備委員会（令和 8 年 10 月開催予定）において、本デザインの趣旨について協議・決定し、12 月に記者発表を行う予定です。

2 校歌について

小中一貫校で使用する校歌について協議した結果、次のとおり決定しました。

- ・はりま新宮小中一貫校の校歌は、現在の新宮中学校の校歌を使用する。

（参考）新宮中学校校歌

新宮中学校校歌		
作詞 西上 忠男	作曲 長谷川 良夫	
一	二	三
緑濃き 五つの郷を 結ぶ学園 われらいま ここにつどえば 若き日の 血潮はたぎり さやかなる 精神は勢う いざや鍛えん わがさとに 羽搏く明日を 望みつつ	流れゆく 揖保の清きに 棹さして われらいま ここにつどえば しろがねの 陽はかがやきて はるかなる 希望は踊る いざや漕ぎなん 日の本の 明るき公民を 目ざしつつ	めぐらせる 峯の松風 身にうけて われらいま ここにつどえば 鳳山は 空に秀でて ゆたかにも 理想は映ゆる いざや磨かん 人の世の 久遠の光 求めつつ

3 はりま新宮小学校の制服及び体操服の着用開始時期について

新宮地域小中学校長会から協議結果の報告があり、次のとおり決定しました。

- ・はりま新宮小学校の制服（イートンタイプ）及び体操服（中学校と同じデザイン）は、令和 9 年 4 月から着用する。

小学校の閉校に伴う行事等について

1 各行事等における主体等

内容	実施主体	費用負担	開催日時等
閉校記念式典	市	市	開催日時 令和10年2月19日（土） 午前10時～
閉校記念事業	実行委員会等	市において物品等の購入費20万円を予算措置予定 （超過分については実行委員会等が負担）	開催日時 実行委員会等において決定
閉校記念誌	実行委員会等	市において印刷費を予算措置予定	閉校記念式典までに発行予定

※「実行委員会等」は、各校区において地域やPTA、学校で構成する任意の団体をいいます。

◆ 閉校記念事業

実行委員会等において、次回の小学校区部会（11月開催予定）までに事業内容、予算等を検討する。

◆ 閉校記念誌

実行委員会等において、全体の構成、各ページの構成、掲載内容を検討する。
（デザインは印刷業者において行うことも可能）

※ 記念誌の印刷費用については、市が負担することを計画しているが、負担する金額は、市が指定する仕様の範囲内とし、その内容を超える部分については実行委員会等において負担することとする。

閉校記念誌の仕様について

- (1) サイズ A 4 版 縦
- (2) ページ数等 表紙、裏表紙あわせて 5 6 ページ以内
原稿データ（写真、テキスト）は実行委員会等から提供する。
テキストや見出し等のデザインは印刷業者で作成することも可能。
- (3) 刷 色 フルカラー印刷
- (4) 紙 質 マットコート紙
表紙 1 3 5 k g、本文 1 1 0 k g

(西栗栖)

資料 3

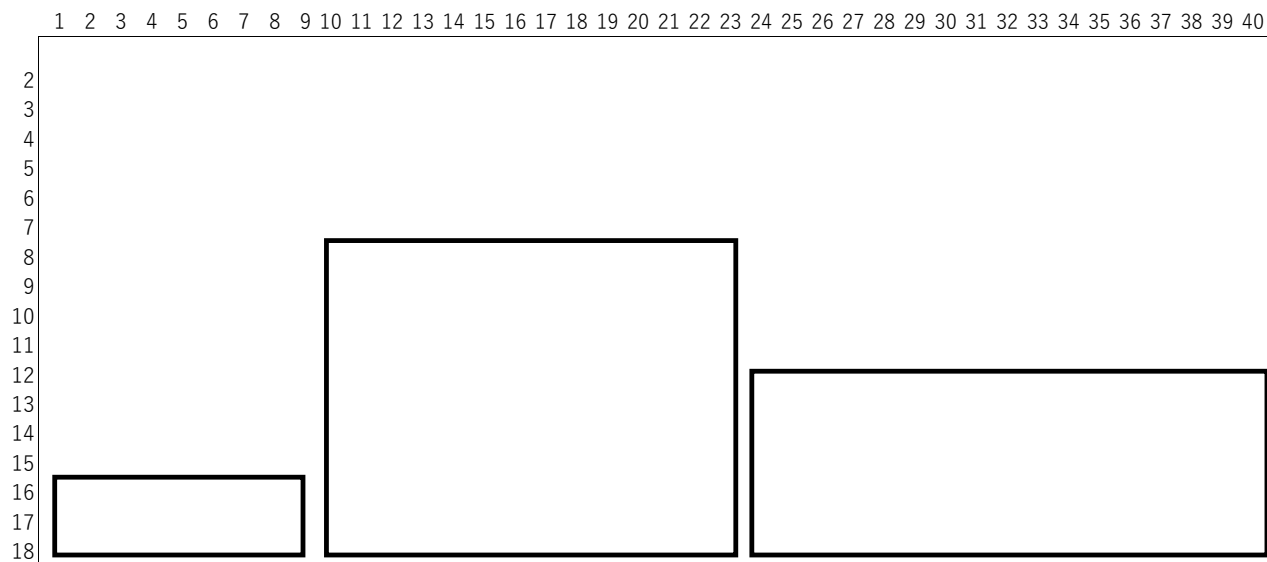
【展示棚】 (設置イメージ図)

1目盛り = 5 cm



【展示ケース】（設置イメージ図）

1目盛り = 5 cm



平面



立面

小中一貫校「(仮称) 地域交流室」について

小中一貫校に「(仮称) 地域交流室」の整備を計画しており、当該交流室に展示棚と展示ケースを設置し、小中学校の歴史等をそれぞれの学校のレガシーとして新しい学校に引き継いでいく。

〔展示棚及びケースの仕様〕

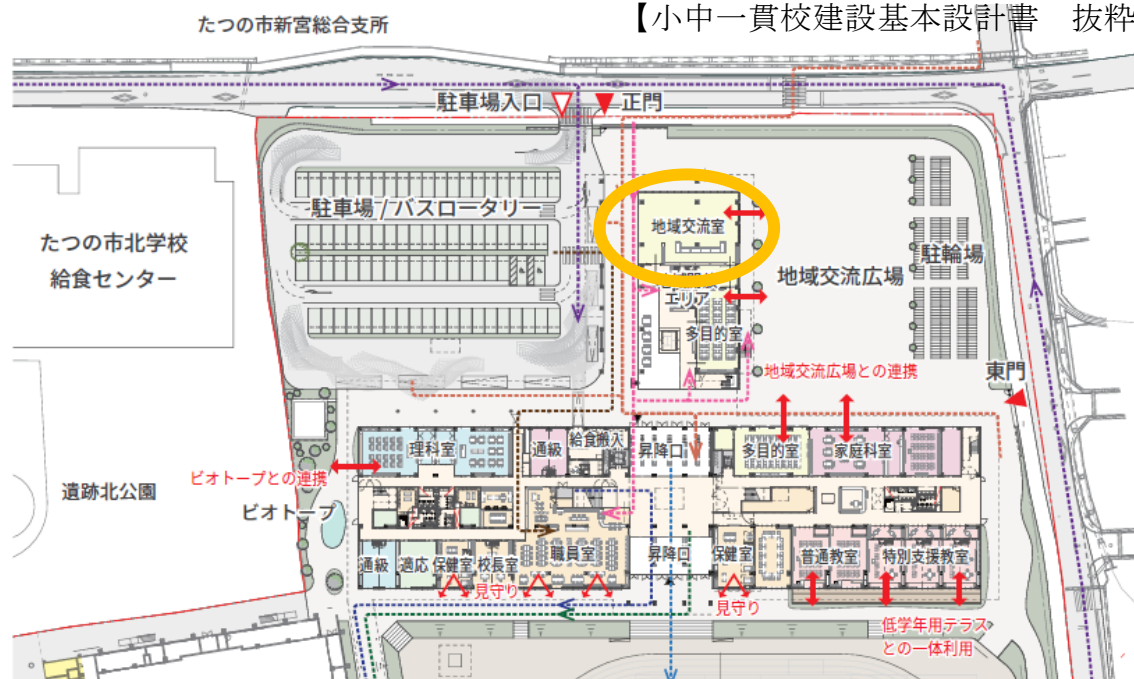
- ・ 展示棚：幅 3000mm×奥行 500mm×高さ 1700mm
- ・ 展示ケース：幅 2000mm×奥行 900mm×高さ 500mm

〔展示棚やケースに収納する例〕

校旗、航空写真、表彰状、トロフィー、写真、周年記念誌、寄贈品 等

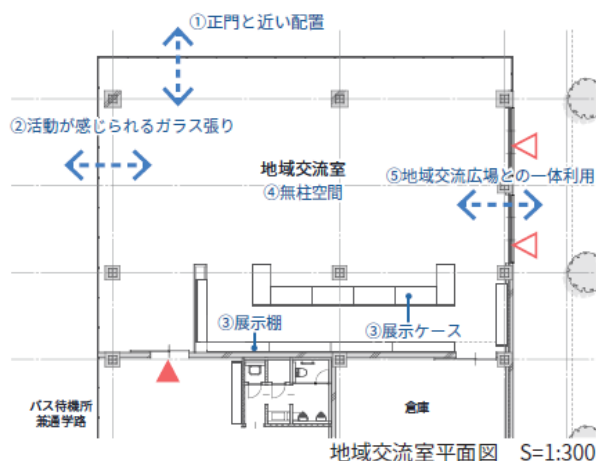
※ 展示棚及びケースともに現在の学校別に設置する。

【小中一貫校建設基本設計書 抜粋】



■新たな拠点づくり計画（地域交流室）

- ①地域開放を行いやすく、また児童生徒が日常的に地域交流室に触れられるように、正門と近い北側に配置します。
- ②地域交流室内での活動が児童生徒や地域の人に感じられるように3面（北、東、西）をガラス張りします。
- ③統合前の6校の資料を展示する展示スペースを設置します。
- ④大人数が集うことができるように、無柱空間を確保します。
- ⑤地域開放時に、地域交流広場との一体的な利用ができるような計画とします。
- ⑥学校運用時にも地域住民の利用が可能となるセキュリティ計画を検討します。



地域交流室平面図 S=1:300

(展示棚及びケースの設置例)



(引用元：日本ファイリング(株)HP)



(引用元：成田市立図書館 HP)

※ 展示棚及びケースともに設置例のため、(仮称) 地域交流室に設置する設備とは異なります。

西栗栖【登校】

【凡例】

- 運行ルート
- 現在の通学路
- 自治会集会所
- バス停車場
- バス停車場(開校時には児童がいないため現時点では停車予定なし)

奥小屋自治会館



【奥小屋】
R10 0人
R11 0人

県道44号線路側帯



【牧】

R10 7人
R11 6人

下筋原公民館 東隣



【下筋原】

R10 3人
R11 2人

時重公民館北



【時重】

R10 1人
R11 1人

旧農協倉庫前



【鍛冶屋】

R10 11人
R11 7人

栗町公民館北の私有地



【栗町】

R10 5人
R11 5人

【通学バス ダイヤ】(案)

奥小屋 ー
時重 7:10(時重公民館北)
牧 7:15(県道44号線路側帯)
下筋原 7:20(下筋原公民館)
鍛冶屋 7:30(西栗栖駅前)
栗町 7:35(栗町公民館北の三叉路)
学校 7:55

【合計乗車人数(小学生)】

R10 27人
R11 21人

西栗栖【下校】

【凡例】

- 運行ルート
- 現在の通学路
- 自治会集会所
- ▲ バス停車場
- ▲ バス停車場(開校時には児童がいないため現時点では停車予定なし)

奥小屋自治会館



【奥小屋】
R10 0人
R11 0人

県道44号線路側帯



【牧】
R10 7人
R11 6人

下筋原公民館 東隣



【下筋原】
R10 3人
R11 2人

【時重】
R10 1人
R11 1人

時重公民館北



【鍛冶屋】
R10 11人
R11 7人

旧農協倉庫前



栗町バス停



【栗町】
R10 5人
R11 5人